



下曾我小学校  
学校だより

# 梅の香

令和7年11月12日  
藤本 明美  
No.7

ふるさと下曾我を愛する子

夢に向かって挑戦する子

思いやる心を大切にする子

仲間とともに進んで行動する子

\*記事の色はめざす子どもの姿に合わせています。

## ◆団結うめっ子団 フルパワーの運動会◆

10月18日(土)、多くの保護者、地域の皆さんに見守られる中、運動会が開催されました。子どもたちが仲間とともに考え、つくり上げた運動会。競技や演技、応援、係の仕事などのさまざまな場面で、子どもたちの生き生きとした姿と自信に満ちあふれた笑顔が見られました。

下曾我小といえば表現!  
完成度の高さに驚きました。



わたしたち さいきょう!!!



Fly into the future



気力あふれる!!爽快ダンス

団体種目、ペアの友達と力を合わせました!



わっしょい!!だるまのおまつりだ!!!



うめっ子団で 梅コロコロ



あらゆる難関を乗り越えろ!!



いろいろな形の個人種目が登場しました!



1・2年: ゴールを目指してまっすぐ走りました。

3年: 徒競走と障害走。  
自分で選んだコースを走りました。



5年:「かりびと」  
教頭先生を借ります!



6年:玉が入らないと走れません。



4年: 宝を探して  
ゴールに一直線!



1点差で今年は赤組の優勝!

10月10日の終業式で「力を合わせるってどういうこと?」というテーマで話をしました。「力を合わせる」や「協力」という言葉は学校生活で子どもたちがよく使う言葉ですが、後期に向けて今一度その意味を考えてほしいと思ったからです。紙コップを使った実験をしながら話しました。



まずは1個の紙コップの上に乗る実験です。「つぶれる!」という子どもたちの声。予想通り、紙コップは体重を支え切れず、つぶれてしまいました。



今度は、紙コップ15個の上に乗る実験です。子どもたちの視線が紙コップに集まります。今度は成功。体重をしっかり支えることができました。



最後に、右を向いたり左を向いたりしている紙コップを見せました。(たくさん集まつても、これでは大きな力になりません。)

この実験後、「みんなで目標を決める」「友達に『大丈夫?』と聞いてあげる」「優しい言葉をかける」ことが「力を合わせる」ときに大切だという声が、子どもたちからあがりました。

長い時間かけて計画や練習に取り組んだ運動会は、子どもたちの自主性や責任感とともに、協力する態度を育成するよい機会になりました。ご協力いただいた保護者、地域の皆さんに感謝申し上げます。

## ◆ 読書の秋 ◆

10月31日(金)、読み聞かせボランティア「おはなしランプ」さんによるお話し会が開催されました。今年の話は、昨年好評だった「むしたちシリーズ」の「むしたちのサーカス」(得田 之久:文 久住 卓也:絵 童心社)です。子どもたちが絵本の世界に浸って楽しめるように、映像や音響、小道具、衣装など、工夫がいっぱいの読み聞かせでした。特に今年は、むしたちのサーカスに子どもたちや教員が挑戦する場面があり、会場が盛り上りました。時間をかけてご準備いただいたボランティアの皆さん、楽しいひと時をありがとうございました。

### ～子どもたちの感想～

- ・「むしたちシリーズ」が読み聞かせて好きになりました。
- ・子どもたちも先生も参加して、とても楽しかったです。
- ・みんなが笑顔になりました。



ジャグリングに挑戦



くもの巣ネットでキャッチ

学校では11月4日(火)～7日(金)が読書週間でした。図書委員会による読み聞かせや図書クイズ、学校司書による読書の授業などが行われました。



1年生は読み聞かせの後  
読書郵便を書きました。



3年生は自分で話を考  
えてミニ本を作りました。



図書委員会が読み聞かせをし  
た話が給食に登場しました。  
「おだんごスープ」 偕成社  
角野 栄子:文 市川 里美:絵

私たちの脳は入ってくる情報が少なければ少ないほど、想像力を働かせて考え始めます。本からの情報は挿絵と文字だけです。音声情報や視覚情報が豊富な映像に比べると、入ってくる情報がぐっと少なくなります。そのため、本を読んでいるときの脳は、能動的に想像して足りない部分を補い、曖昧な部分を解決ていきます。

私たちの周りにはYouTubeやテレビなど、魅力的な映像があふれています。想像することが少ない方をつい選んでしまっている子どもたちもいるかもしれません。読書週間を機に、脳を働かせ、想像する楽しさを味わってほしいと思います。

## ◆ 情報教育 ◆

学校だより6月号でお伝えしているように、本校ではすべての児童が学びの手段としてICTを活用できるように、学年ごとに内容を決めて学習する時間を設定しています。

10月は、担任とICT支援員による授業が3年生と4年生で行われました。



### 3年「タイピング練習をしよう」

ゲーム感覚でタイピング練習に取り組みました。大事にしているのはホームポジションと言われる基本の指の位置です。ローマ字を習い始め、ローマ字入力を始めるこの時期に、指の使い方も学んでいきます。

### 4年「インターネットで調べ学習をしよう」

ダブルクォーテーション(" ")を使った検索方法やイラストの著作権、情報の信頼性などについて学びました。4年生になると様々な学習でインターネットを使って情報収集をします。子どもたちはインターネットの情報を信用しがちですが、「だれが言っているのか・いつ言ったのか・複数の情報を調べて確認したのか」が大切なポイントであることを学びました。



3年生が自分たちで作った梅シロップを使って梅ゼリーを作りました。梅干し作りも順調です!



行事予定はこちらか  
らご確認ください。



[https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga\\_s](https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga_s)

学校 HP もご覧ください。